

よねざわ

市議会だより

Yonezawa City Council

Vol. 157

令和元年 11月1日



敬師太鼓

敬師太鼓は、平成11年11月に青少年の健全育成と地域おこしをめざし、「敬師の里」にふさわしい未来へ末永く伝承していくことを目的として立ち上げられた創作太鼓です。

米沢藩主上杉鷹山公が、学問の師と仰ぐ細井平洲先生を米沢に招いた際、「羽黒神社」でお迎えされ、そのうち「普門院」でお話をされました。

昭和10年に「普門院」が国の史蹟となり、これ以来、山上地区が「敬師の里」とよばれるようになりました。



9月定例会

8月30日～9月27日

平成30年度 決算案件13件を認定



令和元年9月定例会は、8月30日から9月27日までの29日間の会期で開会しました。初日の本会議では、報告案件1件を了承し、人権擁護委員候補者の推薦、及び米沢市教育委員会委員の任命に同意した後、議案29件を各委員会にそれぞれ付託しました。

3日、4日、5日、及び6日には、17名の議員による一般質問を行いました。また、6日の本会議において、追加議案1件を上程し、所管の委員会に付託しました。

10日から13日までの4日間を決算特別委員会に当て、一般会計・10特別会計及び2企業会計における平成30年度の各決算等について審査を行いました。

17日には総務文教常任委員会、18日には民生常任委員会、19日には産業建設常任委員会をそれぞれ開き、議案審査を行いました。

20日には予算特別委員会を開き、補正予算案件6件について審査を行いました。

最終日の27日の本会議では、各委員長報告を行い、決算案件13件を認定することともに、補正予算案件などの議案17件をすべて原案のとおり可決しました。また、意見書の提出に係る発議1件を可決しました。

最後に、議員派遣について了承し、9月定例会を閉会しました。

委員会報告

各常任委員会から質疑の主なものをお知らせします。



総務文教

▼米沢市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

本案は、整備中の米沢市上郷コミュニティセンターが令和元年11月1日に開館予定であることに伴い、その位置を変更し、使用料について定めるほか、規定の整備を図ろうとするものです。

〔委員〕コミュニティセンターの機能に「防災活動の拠点」を追加して規定するのは、整備中の防災センター（兼コミュニティセンター）の建設に、国から補助を受けられる

緊急防災・減災対策債を活用することが関係しているのか。

〔社会教育課長〕これまで全てのコミュニティセンターが地域防災訓練の実施や自主防災組織の組織化などで地域の防災活動の拠点となっており、このことから、これを明確化するために追加するものです。

〔委員〕条例が改正された場合には、地域単位の防災活動を広げていくため、コミュニティセンターが地域の防災活動の拠点としての役割を条例の規定によって担うようになったということを、広報よねざわや防災体験などを通して市民に周知していくべきではないか。

〔危機管理主幹〕条例改正によってコミュニティセンターを地域の防災活動の拠点として位置づけたことについても、各コミュニティセンターを通してしっかり周知し、地域づくりや福祉の側面からも自主防災活動の意識高揚に努めて

いきたいと考えています。

▼米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正について

本案は、国立病院機構米沢病院に入院する病弱児童生徒に対し、治療や自立活動を行いながら学習指導するために設置した米沢市立関根小学校松原分校及び米沢市立第五中学校松原分校について、平成21年度以降は休校となっており、現在、病院には一般の小児病棟がなく、今後、該当する児童生徒が入級することはないため、両松原分校を廃止しようとするものです。

〔委員〕治療が必要な病弱児童生徒への対応はどうか。

〔学校教育課長〕現在、長期の入院が必要な病弱児童生徒は、治療を第一に、山形大学医学部附属病院など、その病気の専門医がいる病院に入院し、治療を受けながら院内学級に通うなどしています。また、入院は必要ないが体力的な問題や特別な配慮の必要がある児童生徒は、市内小中学校の特別支援学級に通うなどしているところですが、こうした対応を今後も継続していきたいと考えています。

〔委員〕松原分校と現在休校中のほかの分校の廃止につい

て、考え方の違いは何か。

〔教育指導部長〕松原分枝については、入級するような病弱児童生徒は市内小中学校の特別支援学級で対応可能なのでこの度廃止の方針としたところですが、ほかの分校については、その地域の学校だったという歴史があるため、地域住民に対して丁寧な適正規模・適正配置の考えを説明し、十分に協議しながら検討していきたいと考えています。

〔委員〕長期入院が必要な病弱児童生徒が市外の院内学級に通学している実態はどうなっているか。

〔学校教育課長〕平成29年度、30年度及び令和元年度ともそれぞれ2名ずつ市外の院内学級に通っていましたが、いずれも年度途中で退院しています。

〔委員〕院内学級に通学する場合に本市教育委員会としての支援は何かあるのか。

〔学校教育課長〕障がいのある児童生徒等が特別支援学校や小中学校の特別支援学級等で学ぶ際、保護者が負担する教育関係経費について、国や自治体が補助する仕組みである「特別支援教育就学奨励費」の交付対象となります。

◀今年度で、廃校になる松原分校



民生

▼交通事故に基づき生じた損害賠償の額の決定及び和解について

本案は、本市事業であるいきいきデイサービスの送迎中の交通事故に基づき生じた損害賠償について、損害賠償の額を決定し、和解しようとするものです。

〔委員〕事故後、再発防止策としてどのようなことを考えているか。

〔高齢福祉課長〕事業者に対

し、バス利用者へのシートベルト装着の呼びかけを徹底することなどの指導を強化するとともに、事業者からは高齢者向けの事業であることを意識させ、運転手の安全運転研修を定期的に実施すること、再発防止に努める旨の回答がありました。

▼米沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

本案は、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴い所要の改正を行うとともに、食事の提供に要する費用に係る多子世帯の負担を引き続き軽減しようとするものです。

〔委員〕本市の場合、3歳以上で保育を必要とする子どもや、保育ではなく教育を受けたいが入られる施設がない子どもで、近くに小規模保育事業所しかないというような状況はあり得るのか。

〔子ども課長〕本市の場合、保育所、認定こども園、幼稚園などすべての施設がそろっているため、そのような状況にはなりません。

産業建設

▼米沢市手数料条例の一部改正について

本案は、建築基準法の規定に基づき建築物の用途を変更して一時的に興行場等として使用する場合の使用許可申請の審査事務等に係る手数料を徴収しようとするものです。

〔委員〕既存建築物の一部を用途変更する場合に係る全体計画認定制度における計画期間は最長で何年になるか。

〔建築主幹〕国土交通省からの通知で一般的には5年程度とされていますが、耐震性がしっかりとっているなど、一定の安全性が担保されている場合には、20年程度まで伸ばすことが可能です。

〔委員〕既存建築物の用途を変更して一時的にほかの用途として使用する場合の期間は。

〔建築主幹〕基本的には1年程度と規定されていますが、期間が1年で収まらない場合などに、特定行政庁が建築審査会の同意を得て認めた場合には、1年を超えることができます。

〔委員〕用途変更の計画の際に当該建物に耐震性が欠けて

いるような場合には、段階的、計画的な改修はできないのか。

〔建築主幹〕耐震性に欠けている場合であっても、区分して、最初の区画を耐震化して改修し、次に、別の区画を耐震化して改修するというように、全体計画を認定することで、段階的、計画的に改修することが可能です。

〔委員〕こつした申請はどの程度出てくる見込みか。

〔建築主幹〕本市は、限定特定行政庁であり、扱うことのできる建物が小規模なものに限られているため、そうした申請が出てくる可能性は低いものと考えています。

〔委員〕この制度の運用にあたっては、運用基準やマニュアルを整備しておかないと、誤った許可をしてしまうなどの恐れはないか。

〔建築主幹〕事前にそうした基準等をしっかり確認して体制を確立したいと考えています。





一新会
いっしんかい

島軒
しまのき

純一
じゅんいち

議員

**地域医療連携推進法人構想への
経緯と今後の本市医療は**

単独建てかえとしていた市立病院を、三友堂病院との連携を進めることになったのはなぜか。また本市が目指す医療とは。

〔市長〕 今後とも医師の確保が重要であり、夜間診療や救急医療など、同じ悩みを持つ

三友堂病院との医療連携を進めることになりました。また、山形大学の嘉山先生のお力が

必要との思いから「米沢市医療連携あり方検討委員会」の委員長に就任いただき、医師確保についても一定の方向性が見えてきていると思っております。

〔病院事業管理者〕 本市の目指すべき医療は、地域の病院や



明誠会
めいせいかい

井上由起雄
いのうえ ゆきお

議員

消防団の機動力の充実と団員の福祉向上は

団員の負担軽減と機動力の充実のため、軽トラトラック資機材運搬車を導入できないか。〔市民環境部長〕 消防団組織全体の見直しを念頭に置きながら消防団本部と協議をし、団員の少ない班の消防ポンプ車などについては、統廃合な

どを含め、総合的な消防施設整備を検討し、その中で軽トラトラック資機材運搬車の配備についても取り組んでいきたいと考えています。

消防団員は仕事を休んでの出動や深夜、未明の出動も当然ある。現状にあった出動手当を支給できないか。

〔市民環境部長〕 処遇については、他市町の動向なども参

診療所、介護・福祉施設などの地域医療連携推進法人への参加について検討し、高齢者が可能な限り住みなれた地域で生活を継続することができるよう、地域包括ケアシステムの構築を検討していきます。

職員が安心して力を発揮して仕事をするためには

不当要求行為や放火等の暴力行為への対応は。また、いじめや保護者とのトラブルなどへの組織としての対応は。

〔総務部長〕 不当要求行為に對しては、組織で対応することが重要であり、各課等での

考にしながら、将来的に改善の検討が必要だと考えています。出動手当については、賃金的な意味合いではなく旅費の費用弁償のようなものでもありますので、慎重に検討していきたいと考えています。

廃校を迎える小中学校の再利用は

廃校を迎える地域から再利用の要望はないか。

〔教育長〕 地域とのかかわりも深いことから、地元の方々からの御意見も伺いながら利活用の検討をしていく必要があると考えています。

確に対応できる体制を確立していきます。また、放火等への対策は、新庁舎において防犯カメラの充実などを行っていきます。また、警察などと協議し、対応した訓練ができないか検討していきます。

〔教育指導部長〕 今年度より

学校教育専門員を教育委員会に配置し、学校や保護者の相談、いじめや不登校などの解決、学校統合にかかわる多くの業務に取り組んでいます。

また、※スクールロイヤーを配置することができれば、教員が安心して力を発揮し、教育活動に専念できる環境づ

子育て世代の要望に応えるために、廃校を迎える関根小学校の体育館を屋内遊戯施設に改装できないか。

〔健康福祉部長〕 施設の劣化状況や維持管理に要する見直しなどを踏まえ、総合的な判断をしていきます。既存の学校施設を利用する場合には、施設の面積や駐車場の広さ、立地などを総合的に勘案して

慎重に進めたいと考えています。

〔教育管理部長〕 公共施設を20%削減していく目標の中で、残す施設と廃止する施設の振り分けが必要です。地域の方々と意見交換しながら施

くりにつながる有効な手段になるのではないかと思っています。今後は配置に向けて検討を進めていきます。



▶市庁舎正面入口に設置されている防犯カメラ

設の利活用の検討が必要となりますので、今後の取組みについて考えたいと思います。



▲統合の計画がある関根小学校

※スクールロイヤー：学校で起こるいじめや保護者とのトラブル等を法的に解決する弁護士のこと



櫻田 健二
さくらだ けんじ

堤 つつみ

郁雄 議員
いくお ぎん

たばこが健康に与える害
についての認識はどうか

日本人の死亡原因の一位は
がんであり、中でも肺がんが
一番多い。健康長寿を目指す
ために、肺がんと密接な関係
がある喫煙を減らしていくこ
とが重要と考えるがどうか。

〔健康福祉部長〕 喫煙は、肺
がんを初め、食道がん、胃が

んなど多くのがん、脳卒中や
虚血性心疾患などの循環器疾
患、慢性閉塞性肺疾患などの
呼吸器系疾患、歯周病など多
くの病気と関係しており、予
防できる最大の死亡原因であ
ることがわかっていきます。そ
のような観点で個人それぞれ
が禁煙に取り組むべきであ
り、市としては、受動喫煙防
止のための施策を講じていく

べきと考えています。

受動喫煙によって年間
1万5千人の人が亡くなっ
ている。受動喫煙防止対策と
して健康増進法が改正され
たが、本市の対応はどうか。

〔健康福祉部長〕 健康増進法
改正により令和元年7月から
学校や病院、行政機関等の施
設は、原則敷地内禁煙となっ
ています。また、令和2年4
月からコミュニティセンター
や体育館など、多数の人が利
用する施設も原則屋内禁煙
で、喫煙専用室を設置すれば
そこでのみ喫煙可能となりま
すが、平成30年12月公布の山

形県受動喫煙防止条例では、
これらの施設に喫煙専用室等
を設けないよう努めるものと
するとされており、本市とし
ても受動喫煙防止対策が後退
しないよう、関係部署に働き
かけています。

受動喫煙による健康被害を
なくすためには、たばこを吸
う人を減らすことが大事だ
と思う。他の自治体では禁煙外
来の治療費を助成する事業を
行っている例もあるが、本市
でもできないか。



櫻田 健二

遠藤 まさと

正人 議員
まさひと ぎん

ひきこもり対策として

行政での窓口の明確化と相
談支援員等の配置はどうか。

〔健康福祉部長〕 本市は、さ
まざまな部署で相談を受け、
ひきこもりに特化した相談員
は配置していませんが、社会
福祉士や保健師等を配置して
いる部署では、その専門性を
生かした支援を行っています

す。一方、相談者がどこに相
談したらいいか迷うことや、
関係機関が市に相談しづらい
等の課題があります。今後は、
こういった形態での窓口の配
置が適切であるかなど、関係
部署で協議していきたいと考
えます。

吾妻山を中心とした
観光ネットワーク策は

〔産業部長〕 天元台高原は歴
史記念館を開設してはどうか。

〔産業部長〕 天元台高原を国
営等の公園の施設にすること
は、現行制度の中ではできま
せんが、国では観光立国を目
指して、国立公園等の積極的
な活用を目指していることか
ら、施設、環境整備等やイン
バウンド推進などの誘客事業
に補助事業を活用できないか
模索していきます。

西吾妻山は鉾山の歴史もあ
ることから、(仮称)天元台歴
史記念館を開設してはどうか。
〔産業部長〕 天元台高原は歴

史的背景のある場所で、歴史
を記した書籍や関係資料を展
示することは、天元台を知っ
ていただくよい機会であり、
また後世に広く伝える場所と
して記念館は意義あるものと
認識します。活用できる資料
や既存施設のスペースがない
かなど、(株)天元台等と検討し
ていきたいと考えます。

〔産業部長〕 今上天皇が学習
院中等科時代、天元台スキー
場に御来訪され、公務として
も国民文化祭が開催された際



▲西吾妻山の「白馬の騎士」(天元台スキー場)



▲肺がんと密接な関係がある喫煙

うに関連させられるのか、検
討させていただきたいと思
います。



明誠会
あきよしあかい

小島
こじま

一
はじめ

議員

子どもたちの運動に取り
組むよりよい環境整備を

中学校での部活動時間が減少したことによる影響は。

〔教育長〕運動部活動のあり方に関する方針を策定し、昨年4月から運用しています。年度初めの会議で全職員に周知し、短時間で成果の上がる練習になるよう工夫するなど

しており、練習に集中できるという声がある一方、もっと練習時間がほしいという声もあります。大きな混乱は生じていません。

競技の専門的な指導や、教職員の負担軽減も目的とした外部指導員の配置状況と今後の考え方は。

〔教育指導部長〕報酬を支払っている部活動指導員について



明誠会
あいたあいた

相田
あいた

克平
かつひら

議員

地域医療を守り育てる
条例の制定を

医師や看護師等の医療人材が不足し、地域医療の持続性確保が問われる今、新病院建設でどのような市民価値が創出されるのか。

〔病院事業管理者〕三友堂病院との機能分化・医療連携により、市立病院に救急医療を

含めた急性期医療が集約されると難しい症例が集まるため、専門医を目指す専攻医や若い医師が集まりやすく、指導医の招聘もしやすくなります。

これまで医師不足や高齢化で医師一人にかかる負担が限界にきていた状況から、医師が集まりやすい環境が整うことで、正のスパイラルが生み出され、医師の確保に良い効

どうする中心市街地活性化

大型店舗が閉店し、さらに空洞化が進んでいる中心部の活性化に関してどのように捉えているか。

は、市内7中学校に一人ずつ配置しています。校長委嘱による外部指導者に関しては、各校で必要な時にお願している状況ですが、希望する数には見合っており、難しい状況もあります。今後に向けては、外部の指導者を充実させていきながら、子どもたちや教員にとってもいい方向で進めていければと思います。

〔企画調整部長〕大型店舗が閉店したことを受け、商業機能のみならず、地域の活性化の観点からも非常に厳しい状況にあると痛感しています。

考えをもって進めていき、民間の動きがあったときはきちんと対応、連携していく体制を持ち続けていきます。



▲どうする、中心市街地

果があらわれてくると期待しています。また、看護師や薬剤師などの医療従事者も充実してくることで医療の質も向上し、必然的に多くの市民の皆様が安心して市立病院を利用していただけになるものと考えています。

住民意識の醸成を図る条例については、その趣旨と市立病院の現状を考えれば、新病院開業前の制定が望ましく、巨額の建設費を投じて建設する新病院が生み出す市民価値を最大化するためにも、早期に条例制定すべきでないか。

昨年度、民生常任委員会では、もはや病院だけの努力で地域医療を守る時代ではないことから、政策提言の形で、市の強い意思と具体的な施策の実施、住民意識の高揚とそれに基づく行動を喚起する必要を訴えた。中でも「地域医療は地域全体で守る」という

〔市長〕ご提案のような条例については、今後検討すべきものであるということは私も承知しています。医師の確保とともに、医師の働く環境の場をしっかりと整えていく必要があり、そういった意味での条例化というものは大切だと思っております。まずは現在

進めている健康長寿推進条例を制定し、その後、取り組んでいきたいと考えています。



▲市長への提言書提出の様子



市民平和クラブ

我妻 徳雄 議員

市政の透明性向上のため、
予算編成過程の公表が必
要ではないか

行政と市民の双方での対話を促し、市民の理解や協力を得るために、また、市民のまちづくりへの参画意識を高め、行政と市民の協働を進めるために公表は有意義だと思いがどうか。

〔総務部長〕 予算編成過程の公表には、御指摘の効果が一定程度あると考えています。しかし、より多くの情報、正確で質の高い情報を提供しなければその効果が得られないと認識しており、そのためには多くの事務が新たに生じ、職員の人的コストが相当増加すると考えられます。また、国や県の動向など、外的要因



櫻田門

山村 明 議員

若者を町なか呼び込むには

米沢工業高等学校の自転車通学の生徒は米沢駅前商店街をほとんど通らない。米沢駅の自由通路や階段を自転車を引いて通れるようにできないか。〔産業部長〕 米沢駅東西自由通路は、敷地が狭いなどの理由から、社団法人日本道路協会が定める「立体横断施設設

新市立病院の調剤薬局と民間薬局との共存はできるか

民間薬局との共存をどう図っていくのか。〔病院事業管理者〕 病院の敷地内薬局は医療機関を利用す

住民参加型の公共事業を一層進めてはどうか

本市は、道路の草刈りなどの簡易な公共事業を地域団体

の方の利便性を図ることを主な目的としており、かかりつけ薬局は在宅訪問や24時間の相談など、地域住民への積極的なかわりを持つことで、機能が発揮されることが求められています。今後、すみ分けがより明確になると想定していますので、十分に共存できると捉えています。

敷地内薬局は、院外処方よりもメリットが少ないのではないかと。〔市立病院事務局長〕 敷地内

薬局は敷地外薬局と比べて調剤料が約4分の1になります。が、薬剤料なども加味すれば、

へ委託する「地域との協働事業」に取り組んでいる。この事業の現況と、今後の方向性はどうか。〔建設部長〕 今年度は5団体に道路路肩の草刈り作業などを委託しています。各地区との意見交換の場では、「本事業を通して地域コミュニティを形成できた」、「作業で得た代価を運営資金として活用し、地区活性化につながっている」などの意見が出されています。本市としても、この事業を通して市道維持管理コストの縮減に加え、道路管理に対する地域との信頼の

収入は得られると捉えています。 本市の薬剤師会の加入者は現在110名前後で、市内の薬局店舗数は約60店舗あり、市立病院の院外処方箋に対しては、病院内に薬剤師会が主体となりファックスコーナーを設けるなどの協力をいただいていた。しかし、敷地内薬局ができ、患者さんは受診した後、引き続き薬をもらえるとなると民間薬局への院外処方箋の数が減り、その経営等にかんがって悪影響をもたらす心配があるがどう思うか。〔市立病院事務局長〕 現在、

構築が図られていると評価しており、今後も本事業をPRし、事業拡大を図れるように努力していきます。



▲平成20年度に田沢地区をモデルにスタート

設けているファックスコーナーは、引き続き設置し、民間薬局への対応も従来通りの対応ができるよう考えています。



▶市立病院に設置している院外処方用のファックスコーナー



市民平和クラブ

小久保 信 議員

インクルーシブ教育の
取り組みは

インクルーシブ教育とは、子どもたち一人一人が多様であることを前提に、障がいの有無にかかわらず、誰もが望めば自分に合った配慮を受けながら、地域の通常学級で学べることを目指す教育理念と実践プロセスであるが、本市

の取り組み状況はどうなっているか。

〔教育長〕本市設置の障がい児等教育支援委員会で取り組んでいる教育的ニーズに最も的確に答える指導の場、可能性を最大限に伸ばす学びの場の検討をしています。

また、就学先の決定は、本人、保護者との合意形成のもと行っています。

各学校では、当該児童生徒一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、保護者と十分に教育相談を行い、連携して指導・支援に当たっています。

また、個別の指導計画と教育支援計画の作成・活用を推進し、指導に当たる教員の研修の機会を設け、専門性の向上を図っています。

さらに、学級では、座席の配慮や学習内容の調整など、個々のニーズに合わせた合理的配慮も行っています。

ほかに、言語通級教室、LD/AHDH通級教室を興譲小学校と北部小学校に設置

し、通常の学級で学んでいる児童生徒が、その教室に通級して個別の指導、支援を受けられる体制の整備を進めています。



▲通級教室を設置している北部小学校

孤立無業者の対策は

20歳から59歳までの人で、学生でなく未婚であり、無職で、ふだん一人か、肉親以外に接点のない人を孤立無業者というがその対策はどうなっているか。

〔健康福祉部長〕生活自立支援センターを米沢市社会福祉協議会内に設置し、専門の支援員が寄り添って、一人一人の状況に合わせた支援プランをつくり、他機関とも連携しながら解決に向けた包括的かつ継続的な支援を行っています。

市民平和クラブ

影澤 政夫 議員



地域循環型農業の現状と将来性は

「地域循環型農業」の推進による担い手育成・農地保全策について、本市としての現状や課題、今後の取り組みは。

〔産業部長〕稲作等を行う耕種農家と畜産農家の連携による循環型農業は、順調に発展しており、畜産法人の規模拡大も含め実績を上げています。

その一方で、飼料用作物作付けの急速な拡大を不安視する声も聞かれることから、本市としても飼料生産組合と稲作農家・地域の相互理解を図られるよう対応していきます。

〔農業委員会会長〕転用農地への飼料用作物の作付け制限はできませんが、委員会としても、地域・当事者間で誤解や不安が生じないように、話し



▲豊稔の稲穂と斜平山

合い等を継続していきます。

里山保全と野生動物の対処を

野生動物等被害の防波堤的役割を果たしてきた里山に、

遊歩道として利用できる緩衝地帯を整備すべき。

〔産業部長〕遊歩道の整備として、「ようざん桜の杜」をめぐるようなルート設定ができ、より多くの方が訪れれば、被害対策と地域振興を同時に実現できる方法ではないかと思えます。今後、地域の御意見を伺いながら、ともに研究していく必要があると考えます。

冬期間の行き届いた除雪対策は

地域共助による除雪対策の現状と今後は。また、克雪施設の整備と法規制の雪国緩和策を推進すべきではないか。

〔企画調整部長〕今年度2名以上の団体による「地域の支え合いによる除排雪モデル事業補助金」を創設しており、今後市内全域を対象にしていきたいと考えています。

〔建設部長〕融雪溝等の既設設備も、側壁パネル等を設置するなど能力アップを図っています。また、道路に関する工事を行う場合、道路法24条等の雪国における緩和策も、県等にもその趣旨を伝えていきます。



明誠会
めいせいかい

島貫 宏幸
しまぬき ひろゆき
議員

市役所の働き方改革の取組みと業務の効率化について

RPA等の活用で、業務の効率化による生産性向上と長時間労働対策になる。導入を検討すべきと考えるがどうか。
〔企画調整部長〕 RPAはキーボードやマウスを使って行ってきた定型的作業を、コンピューターに自動実行させる

取組みです。どのような業務に取り入れられるかを検討していきたいと考えています。

災害時における被災者への対応について

本市における被災者への対応と支援はどのようになっているのか。
〔市民環境部長〕 支援内容について現在は口頭での説明となっていますので、本市の情



日本共産党市議団
にほんきょうとうしぎだん

高橋 壽
たかはし ひさし
議員

「ブラックな働かせ方」に自治体としても対策を

県労働局は、昨年度監督指導した事業所の約75%が労働基準関係法令違反と公表した。若者の多くが学校や職場で労働基準法や労働者の基本的権利、雇用主としての企業の責任について知る機会もなく、違法・脱法の働かせ方に

泣き寝入りしている状況ではないのか。是正に向けた対策、取組みを始めた自治体もある。本市の対応はどのようになっているか。

〔産業部長〕 県内の労働基準関係法令違反が認められた事業所についての個別情報は、公表されていないため、現状を把握するのは難しいものと考えています。

冬季の木場川の溢水対策をどのように考えているのか

今年の冬も木場川の溢水が住宅地の床下まで押し寄せた。冬期間も安心して暮らしていけるように、しっかりとした対策をとるべきと思うが本市の考えはどうか。
〔建設部長〕 流下能力以上の

報を取りまとめ、書面の資料を作成することに取り組んでいきたいと考えています。また、ホームページのお知らせについても、現在は行っていないですが、整備し周知を図りたいと考えています。



▲木場川の溢水の様子

過剰投雪によって下流部から次々と雪の塊が詰まってしまっている状況が発生しています。さまざまな手法について、課題を整理しながら溢水対策につ

国道287号の歩道・車道改修計画は進んでいるのか

バイパス工事が進んでおり、将来的には現在の国道の一部が本市に移管される。維持管理も含め重い将来負担となることから、県に対し早急な対応を求めるときがどうか。
〔建設部長〕 移管されるまでは、県による管理が引き続き行われます。補修を要する場合や、地区の要望について市からも進達していきます。

いて取り組んでいきます。

その後考えていきたい」と答弁いただきましたが、引き続き各種施策の展開に邁進していきたいと考えています。



「子育て応援都市宣言」をし、子育て強化を

本市としては、労働基準関係法令を遵守した地元企業への就職が定着につながり、本市労働力人口の確保につながることから重要な課題と考えています。対策としては、事業主を含めた市民に向けて、ホームページ、市広報などで関係法令の遵守などについて周知、啓発しており、労働者に対しては、労働相談窓口として労働基準監督署等を紹介し、労働者の悩み解決に取り組んでいます。

「子育て応援都市宣言」を行うことの意味は二つあると考える。一つは、行政の子育て施策、条件整備の推進、二つ目は市民の子育て事業への参画の推進である。本市の子育て支援をさらに進めるために「宣言」をすべきでないか。
〔市長〕 3月の一般質問でも「宣言については、本市が子育て支援に対して、一歩でも二歩でも他市町村にリードして行うことが望ましいものとの考えから、今は、行政も含め、市全体が子育て支援に対する意識の醸成づくりの時期と捉え、各種施策を展開し、



日本共産党市議員

高橋 英夫 議員

本市の中小小工業者事業継承問題の実態把握と対策は

2025年には中小企業の経営者のうちの6割にあたる約245万人が70歳以上になると見込まれ経営者の大量引退が予測される。それらの事業所が廃業すると全国では650万人の雇用が喪失、GDPでは22兆円が喪失する。

本市も例外ではない。現状を把握し対策を急いで講ずる必要があると思うがどうか。

〔産業部長〕 昨年6月に米沢商工会議所が行った調査によると、「将来的な承継の考えがある」56%、「考えがない」41%という状況です。本市としては毎年2月に説明会を開催し、経営承継円滑化法による税制支援及び事業承継に係る補助事業の説明など情報提供を行っています。支援機関や商工団体と連携し、より一層の周知を図っていきます。

本市のひきこもりの実態把握と対策はどうか

従来ひきこもりは若者の問題とされてきたが、今や「8050問題」（80代の親と50代の子が暮らす世帯が経済的に困窮し社会から孤立してしまう問題）に象徴されるように全世代にわたり、直接的に命に関わる問題であり、日本の近未来にとっても重大な問題である。ひきこもりの実

態把握と対策はどうなっているか。

また、小中学校における不登校やひきこもりの状況は。

〔健康福祉部長〕 ひきこもりについての本市独自の調査はしていません。県の調査では置賜地域で平成30年の該当者数は332人で出現率は0.16%、これを米沢の15歳以上の人口で試算すると約120人です。本市ではさまざまな部署で相談に応じ、一人一人のニーズと課題に最も適切な支援機関を紹介し、関係機関が連携して支援をしています。

厚生省で出している「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」



学校低学年で7名、高学年21名で、全体の出現率は0.68%。中学校では合計66名で出現率は3%となっています。



明誠会

古山 悠生 議員

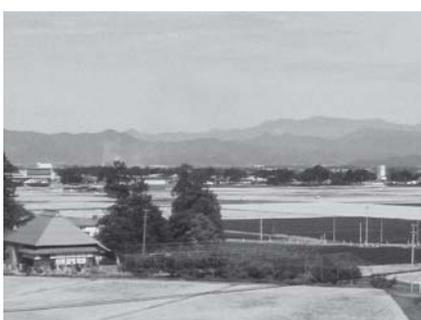
本市の農業行政のあり方は

農地中間管理機構の利用状況はどのようになっているか。

〔農業委員会会長〕 平成26年の事業開始から昨年度までに158.8ヘクタールの貸し付けの実績があり、うち昨年度は10.3ヘクタール貸し付けています。担い手への集積率は78.7%となっており順調に

本市の農産物の輸出状況は現在どのようになっているか。

〔産業部長〕 米は、2軒の米生産農家がハワイ、シンガポールに輸出しているほか、JA山形おきたまが輸出しています。米沢牛は、将来、輸出も積極的に展開することを考え、現在市場調査を実施していますが、本格的に輸出するためには、まず増頭が必要だと考え、取組みを検討しています。



▲「東洋のアルカディア」置賜盆地

多収米等の新品種の導入やICT等によるスマート農業の推進等、市がリーダーシップを取って行っていただきたいが、どのように考えるか。

〔産業部長〕 スマート農業等

に取り組むことで省力化が図られ、高収益作物の栽培が可能になってくると考えますので、今後関係機関・団体と協議しながら進めます。



一新会
いっしんかい

齋藤千恵子
さいとうちえこ
議員

近年の投票率の低下を
いかにして向上させるか

近年の投票率の低下は、真剣に取り組みべき喫緊の課題である。

投票率向上の取組みとして、高齢者や障がい者の方の投票環境を整えることも大事であると考えるがどうか。

〔選挙管理委員会委員長〕 投

票所のバリアフリー対策は、全ての施設において行き届くまでには至っていませんが、

簡易スロープの設置や車椅子・点字器・老眼鏡等の配置に努めています。今後とも指定施設における不在者投票制度や郵便投票による不在者投票制度及び代理投票制度について広く周知に努めます。

学校における主権者教育の



一新会
いっしんかい

工藤 正雄
くどう まさお
議員

消防団第一分団のポンプ
庫移設は考えているのか

老朽化している市街地の消防ポンプ庫の整備計画を策定し、取り組んではどうか。

〔市民環境部長〕 今年度の消防団の見直しと合わせ、団本部の意向も確認しながら建築計画を策定し、まちづくり総合計画に登載していきたいと

考えています。

第一分団は、広大な区域を管轄しており、ポンプ庫前の道路も狭いことから、緊急時に安全に出勤できる場所へ移設すべきと思うがどうか。

〔市民環境部長〕 現在地は、管轄区域のほぼ中央になりますが、居住人口の分布等から見れば問題もあるので、将来的な建てかえの際は、用地選

現状は。

〔教育長〕 小中学校の段階から地域社会の一員として、他者と連携・協働しながら、具体的に課題を解決できる力を身に付けることを意識した教育活動を行いたいと考えます。



▲期日前投票所の「山形大学工学部 ゲストハウス YU」

「子どもを真ん中に
置いた政策」を

より子育てしやすい米沢市となるよう「子ども・子育て総合支援推進条例」を制定してはどうか。

〔健康福祉部長〕 他自治体の条例に組み込まれている「子どもの最善の利益」、「安心して子育てできる環境」、「持続可能な社会の構築」は、本市においても必要とする子育てのあるべき姿、社会全体で子育てを支える仕組みであると考え、今後、課題を整理し研究していきます。

生きづらさや困難を抱える

子どもたちの現状と支援は。

〔教育長〕 本市の不登校の実態は、小中学校ともに増加傾向にあります。また、いじめの認知件数は、平成29年から平成30年にかけて増加しています。いずれの状況もさまざまな要因が背景にあり、人間関係づくりの難しさ、家庭環境の変化など課題を抱えた児童生徒は年々増加しています。今後も一人一人の課題を把握し、個々に応じた支援を行うよう努めていきます。

学園都市が持つ機能を
推進するために

山工大学の教養課程を本市に移転できないか。

〔企画調整部長〕 大学内部でも検討されたようですが、異なる学部間の交流により、学生の多様性を受け入れる能力を育むため、分散は講義の効率が悪く教員に負担等が掛かるため難しい状態です。

なお、令和3年に建築デザイン学科が米沢キャンパスに移る予定となっています。



◀消防団第一分団のポンプ庫

定についても十分考慮します。

ポンプ庫を市民等から見える場所に建設し、防災意識の高揚に役立ててはどうか。

〔市民環境部長〕 現在のポンプ庫は人目につきやすい場所

住宅に困っている一人暮らしの高齢者への支援は

高齢者を優先して、市営住宅に入居できないか。

〔建設部長〕 今年度から単身者入居可能住戸をふやし、生活困窮度などに配慮した抽選等を行っています。60歳に満たないお困りの方もおられ公平性の観点から抽選を省いてのあつせんは難しい状況です。



明誠会
めいせいかい

木村 芳浩 議員
きむら よしひろ

米沢市スポーツ振興
計画について

本市のスポーツ施設の改修・修繕はどのように進めていくのか。

〔教育管理部長〕 体育施設の平均築年数が30年以上経過し全て老朽化が進んでいます。各競技団体から要望がある中で、競技のルール変更・競技

を実施するにあたり必要な部分を優先して改修なり整備を進めていきたいと思えます。

皆川球場の屋内外の破損状況を確認していると思うが、今後どのように整備を進めていくのか。

〔教育管理部長〕 天井板の剥がれなど、使用には厳しい状況であると認識しました。雨漏りの部分は早急に改修を行



▶天井が剥がれている皆川球場の
屋内施設

い、施設全体については、スコアボード等、さまざまな箇所の改修が必要でありますので、体育施設全体の中で長寿命化計画を策定して取り組んで行くべきと考えています。

本市の観光政策について

本市の観光をさらに発展させていくための施策を考えているか。

〔産業部長〕 本市観光を取り巻く現状、そして本市が抱える地域課題として、少子高齢化に伴う人口減少の到来、多様化する観光ニーズへの対応、ICTの飛躍的な発展への対応、インバウンドへの対応、東北中央自動車道と道の駅の活用等があります。

これらの解決や事業の推進を図ることによって、数ある観光地の中から本市を訪れて

いただけるように、地域ブランドの向上、異業種連携、広域連携、戦略的な態勢整備に取り組んできました。

市としては、さまざまな観光施策を実施することで、観光入込客を増加させ、それに伴い観光消費額もふえ、その結果、経済活動によって、法人・個人を問わず利益を上げ、付加価値を高めるなど、最終的には税収の確保につながる効果的な施策を実行していきたいと考えています。

決算特別委員会

決算特別委員会は、9月10日から13日までの4日間にわたり開催し、一般会計・10特別会計・2企業会計における平成30年度の決算等を審査しました。

その結果、いずれも認定すべきものと決まりました。当特別委員会の主な質疑については、次のとおりです。

〔委員〕 長期的な財政運営に関し、市庁舎、市立病院の建てかえ等の大規模事業が続いても、基金を活用することで健全な財政を維持できると聞いている。

市民サービスも低下させる

ことなく維持していただきたいと思うが、今後の財政運営の基本的な考えはどうか。

〔総務部長〕 ことし2月に中期の財政見通しを示しましたが、これは長期的に市政を担っていくためにも将来の見

通しを立て、健全な財政運営を心がけるべく公表したものです。

大規模事業が続き、人口減少が進む中であっても持続可能な市政運営を行うために、毎年度その見直しを実施し、健全な財政運営に努めていきます。

〔委員〕 各家庭における車の維持にかかる負担、高齢化や環境への影響等を考慮し、公共交通の利用を促す必要がある。そのためには、公共交通の利用を習慣化させる啓発活動が重要ではないか。

〔地域振興主幹〕 民間バス路

線を含めた市民バスの時刻表を全戸配布するとともに、学生に対し、「バスナビ」のQRコード入力を促す取り組み等を行っています。しかし、広報活動が十分ではないと認識していますので、今後とも周知徹底を図っていきます。

〔委員〕 高齢者温泉利用福祉事業は、週に4回しか利用することができず、利用者から不満の声が上がっている。一事業者ではなく、複数の事業者に委託する考えはないのか。

〔高齢福祉課長〕 この事業は寿山荘の代替事業であり、単に入浴だけではなく、高齢者

の相談業務、イベントの開催などの老人福祉センターとしての機能をまとめ、公募により開始した事業であり、一事業者への委託が基本だと考えています。

一方、利用可能日は、委託事業者と協議していきます。

〔委員〕 小規模水道組合が管理する送水管の老朽化が相当進んでおり、これから更新時期を迎えることになるが、市は組合に対し、対応策等の指導を行っているのか。また、万が一給水できない状況になった場合の支援はあるのか。

〔環境生活課長〕 本市では飲

料水改善事業費補助金を設けて、組合が管理する基幹施設や設備の更新等に対し、その費用の一部を補助しています。

一方、設備の故障や濁りなどが発生した場合は、市の給水車を使用して対応に当たります。

〔委員〕米沢の観光資源としても定着している小野川地区の「田んぼアート」について、市は事業継続のために、地元の関係者とのように協議を進めていくのか。

〔農林課長〕三沢地区や小野川温泉の方々にはこれまで多数多く参加いただき、さまざまな形で協力をいただいています。

事業を継続していくためには、地域の方々等に主体的にかかわっていただくことが必要と考えており、市も連携を図りながら協議を進めていきます。



▲今年度の田んぼアート「米沢のいいところいっぱい！」

〔委員〕モンキードッグによる追い払いについて、昨年度で一旦終了したとのことだが、それに代わる追い払いの考えはあるのか。

〔農林課長〕現在は、地域の方々に花火を活用した追い払いを継続していただいております。さらにもどのような方法が有用であるのか、関係者と協議を重ねたいと考えています。

〔委員〕西吾妻山観光拠点誘客事業を㈱天元台に委託したようだが、天元台高原を拠点として誘客することは、企業の主たる業務ではないのか。

〔観光課長〕本市は、天元台高原を山岳観光の拠点として位置づけており、一方では、公的な役目を担う機能もあることや(株)天元台の厳しい経営状況を鑑みて、本事業を委託して実施したものです。

〔委員〕道の駅米沢については、想定を超える来館者があり、売り上げも好調だと聞いている。

月に一度の運営会議では、利益の分配や今後の設備投資などについて協議したと思うが、これまでの経緯はどうか。

〔観光課長〕施設の管理運営に必要な経費を指定管理料により市が負担し、営利が伴う部分の建物や設備品、土地の

使用料を運営会社が市に支払うこととしています。

一方、前年度決算では黒字となりましたが、設立後一年目の企業のため、一定程度の内部留保をしながら経営体質を強めていく必要があることから、市は使用料の減免措置をとることとしました。



▲道の駅ランキング2019で第9位に選ばれた「道の駅米沢」

〔委員〕住宅リフォーム総合支援事業費補助金については、申請者への支援だけではなく、市内の建設業者、建材販売業者等の仕事の掘り起こしもでき、非常に効果がある制度だと思いが、経済波及効果などは検証しているのか。

〔建築主幹〕昨年度は313件の申請があり、補助額は約4千5百万円となりました。

これを補助割合で割り返し想定すると約6億2千万円と見積もられることから、市場

には最低でもこの金額が出回ったものと考えられます。

〔委員〕市道整備や側溝整備等については、いくつかの事業費をあわせて予算の大枠が決まっています、その中でやりくりしながら事業を進めていくと思う。

今後、予算の枠をふやさない限り、市民要望に応えることができないのではないかと。

〔土木課長〕基本的には、まちづくり総合計画の実施計画に基づき予算計上していることから、予算の増額については財政当局と協議したいと考えています。

〔委員〕避難行動要支援者の名簿情報について、提供を受けた組織にどのように活用してほしいのか、市はマニュアルを整備すべきではないか。

〔危機管理主幹〕名簿情報は、自主防災組織等で共有し、有事の際、安否確認や逃げ遅れ、避難所への誘導などに使用されると考えています。現在、マニュアルはないところですが、国や県の指針等を参考にしながら、名簿情報の活用について周知していきます。

〔委員〕就学援助は教育にかかる費用の全体に対して援助を受けるものと理解しているが、生活保護や就学援助を受

けていない、いわゆるボーダーライン上にある困窮世帯に対し、給食費に限った援助は制度上できるのか。

〔学校教育課長〕就学援助の基準に基づいて扶助しているので、今のところその対応はできません。

〔委員〕県内においても、就学援助を受けていない世帯に対し補助している実態もあることから、本市も検討いただきたい。

〔委員〕本市は、老朽化した鑄鉄管を耐震管に直接更新しているようだが、耐震化が進まない理由は何か。

また、技術者の不足が深刻な問題であると業界団体から聞いているが、市としての考えはどうか。

〔水道課長〕現在、市街地の工事をやっているため、交通誘導員の確保が難しいことや、古い管を撤去しながらの作業のため、若干時間を要しています。

一方、建設業界からは、技術者や若手労働者の確保は急務な課題だと聞いています。週休二日制導入による工事発注や、諸経費の見直しを検討されており、それらも考慮した事業の推進に努めます。

予算特別委員会

9月20日に開かれた予算特別委員会から、

質疑の主なものをお知らせします。

〔委員〕 会計年度任用職員制度の導入に伴い人事給与システムの改修を行うとのことだが、その制度の詳細を示されないままシステム改修を行うのか。また、この制度は、来年4月1日からの実施だが、いつ詳細が決まるのか。

〔総務課長〕 この人事給与システムは、行政事務電算共同処理業務により置賜3市5町で共同処理しているもので、今回の補正は、会計年度任用職員制度に対応するためのシステム改修ですが、各自治体の勤務条件等に左右されるものではありません。詳細については、現在、早急に作業を進めております。



〔委員〕 幼児教育・保育の無償化の実施に伴う食材料費

〔副食費〕の市独自減免について、対象は年収360万円未満相当世帯の子どもや所得階層にかかわらず小学6年生から数えて第3子以降の子どもとなっているが、先進自治体では、第1子の年齢に関係なく実施しているところもある。本市として、せめて中学3年生まで引き上げるようなことはできないか。

〔市長〕 副食費の市独自減免については、子育て支援の一環として第3子以降の子どもを該当にしていますが、どの年齢にするかなど、子育て支援のさまざまな取組みを総合的に勘案し検討したいと思えます。

〔委員〕 熊の皮剥ぎ被害の状況を国や県と共に、年内早々に調査できないか。

〔農林課長〕 熊の皮剥ぎ被害



▶熊による皮剥ぎ被害

については、これまで県主体で調査を実施してきた経緯があります。県の指導をいただきながら、被害の実態を把握する調査を早い段階で実施したいと考えています。

〔委員〕 山形県国民健康保険事業費納付金について、今年度の納付は、基金を取り崩しの対応となると思うが、現時点での基金残高の見込みは。また、来年度以降も県への納付金額がふえると予想されるが、そのような状況について本市としてどう考えているのか。

〔国保年金課長〕 平成30年度末の基金残高は11億円ほどで

す。県が示す納付金額は、昨年度と比較すると1億4千万円ほど上昇していますが、現時点で見込みを立てている令和3年度までについては、横ばい、あるいは1億円程度の上振れと見込んでおり、たとえ納付金額がふえたとしても、保険税の引き上げをせず基金の取崩しで賄える見通しとなっています。

〔委員〕 米沢市立病院事業会計について、10月1日からの消費税率アップに伴う影響として、診療報酬は非課税であるが、診療に必要な医薬品や機材等は課税対象なので病院が負担せざるを得ないという問題をテレビで取り上げていた。このことについて、市立病院ではどのように影響すると考えているのか。

〔市立病院総務課長〕 当院では、過去1年間の診療材料などの費用と診療報酬などの収入を税率アップ前後とで置き換えたところ、年額で約1千万円ほど収入のほうが多くなりました。仮にマイナスとなった場合でも、さほど影響は出ないと考えています。

〔委員〕 8月臨時会で、天元台ロープウェイ搬送器等修繕に

係る費用及び(株)天元台運営支援補助金について可決された際、今後、収益を上げるための方策、中期的な見通しを立てるとなっていたが現時点での状況は。

〔観光課長〕 今年度末までの短期アクションプランと今後5年間を見越した中期経営改善計画の2つによって経営改善を進めていく予定です。

短期アクションプランについては、代替え送迎による送客、天元台サポートクラブへの加入促進などを進めます。また、中期経営改善計画については、今後、(株)天元台とともに取りまとめをし、お示しさせていただきます。



▶紅葉に彩られる天元台高原

8月臨時会で審議された議案

議案番号	件名	結果
議第47号	令和元年度米沢市一般会計補正予算（第3号）	可決
発議第4号	議第47号 令和元年度米沢市一般会計補正予算（第3号）に対する附帯決議	可決

9月定例会で審議された議案

議案番号	件名	結果
報第11号	平成30年度の決算に基づく米沢市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	承認
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
議第48号	米沢市教育委員会委員の任命について	同意
認第1号	平成30年度米沢市一般会計歳入歳出決算	認定
認第2号	平成30年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算	認定
認第3号	平成30年度米沢市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算	認定
認第4号	平成30年度米沢市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算	認定
認第5号	平成30年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計歳入歳出決算	認定
認第6号	平成30年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計歳入歳出決算	認定
認第7号	平成30年度米沢市下水道事業費特別会計歳入歳出決算	認定
認第8号	平成30年度米沢市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算	認定
認第9号	平成30年度米沢市物品調達費特別会計歳入歳出決算	認定
認第10号	平成30年度米沢市南原財産区費特別会計歳入歳出決算	認定
認第11号	平成30年度米沢市三沢東部財産区費特別会計歳入歳出決算	認定
認第12号	平成30年度米沢市水道事業会計決算	認定

議案番号	件名	結果
認第13号	平成30年度米沢市立病院事業会計決算	認定
議第49号	米沢市一般職の職員に対する退職手当支給条例等の一部改正について	可決
議第50号	米沢市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第51号	米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正について	可決
議第52号	交通事故に基づき生じた損害賠償の額の決定及び和解について	可決
議第53号	米沢市印鑑条例の一部改正について	可決
議第54号	米沢市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決
議第55号	米沢市児童センター使用料条例の一部改正について	可決
議第56号	米沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議第57号	米沢市新庁舎建設工事請負契約の一部変更について	可決
議第58号	米沢市手数料条例の一部改正について	可決
議第59号	令和元年度米沢市一般会計補正予算（第4号）	可決
議第60号	令和元年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）	可決
議第61号	令和元年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）	可決
議第62号	令和元年度米沢市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議第63号	令和元年度米沢市立病院事業会計補正予算（第1号）	可決
議第64号	平成30年度米沢市水道事業会計剰余金の処分について	可決
議第65号	令和元年度米沢市一般会計補正予算（第5号）	可決

※ 意見書提出にかかる発議の採決結果は、16頁に掲載しております。

議案の賛否一覧表

◆8月臨時会・9月定例会において賛否が分かれた議案についてのみ掲載しています。

議案番号	会派議員名	採決結果	市民平和クラブ				公明クラブ		日本共産党市議団		櫻田門			一新会					明誠会							
			小久保広信	影澤政夫	我妻徳雄	太田克典	山田富佐子	佐藤弘司	高橋壽	高橋英夫	山村明	堤郁雄	関谷幸子	遠藤正人	島軒純一	工藤正雄	齋藤千恵子	成澤和音	中村圭介	鳥海隆太	古山悠生	井上由紀雄	小島一	島貫宏幸	木村芳浩	相田克平
認第2号		認定	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第3号		認定	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第4号		認定	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=賛成 ×=反対

鳥海 隆太議長は採決に加わりません。

9月定例会で審議した意見書の結果は次のとおりです。

意見書

◆加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書の提出について(発議第5号)
(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣あて)

9月定例会最終日に、議員提出の意見書1件を原案のとおり可決し、直ちに関係機関に送付しました。

市議会12月定例会 日程(予定)のお知らせ

- 11月29日 開会(本会議)
- 12月 3日 一般質問
- 4日 一般質問
- 5日 一般質問
- 6日 一般質問
- 9日 総務文教常任委員会
- 10日 民生常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会
- 12日 予算特別委員会
- 19日 最終日(本会議)

※請願の提出期限は、11月22日(金)
午後5時の予定です。日程は変更
されることがありますので、傍聴
の際は議会事務局までお問い合わ
せください。
TEL 22-5111 (内線5623・5624)

福島三市(福島・相馬・伊達)と要望活動へ

10月1日(火)に、福島市、相馬市、伊達市、米沢市の議長及び
会派の代表者が、東北中央自動車道の整備促進を要望するために、
仙台市にある東北地方整備局を訪問しました。

南東北地域の発展と
震災及び原子力災害か
らの早期復興のため、
一日も早い全線供用
に向けた整備の要望書
を提出しました。



4市の議長による、要望書提出
の様子。
写真左から2人目
米沢市議会 鳥海議長▶

「地区の心」綱木獅子踊り

米沢の伝統行事である「綱木獅子踊り」が今年も8月15日に
行われました。

とても暑い中でしたが、3頭の
獅子の力強い舞に見入り、また、
地区の方々が守り続けてきた歴史
の重みを実際に感じることができ
ました。

156号の表紙では、獅子頭が
青色に写っていますが、獅子には
チャボの羽が使われており、とて
も美しい獅子頭でした。



議会を傍聴してみませんか

本会議、委員会ともに、受付で住所、
氏名などを記入するだけで、どなたでも
傍聴できます。
お気軽にお越しください。

あとがき

秋も深まりめっきり日脚
も短くなってまいりました。

9月定例会は「決算議
会」とも呼ばれ、前年度の
一般会計・特別会計・企業
会計等各会計の予算が目的
に沿って効果的・効率的に
執行されたかどうか等を審
議・審査しました。

決算審査を通して予算執
行の問題点を指摘し、改善
していく事は、適切な予算
を作成する上でとても大切
な役割のある委員会です。

今回は、9月定例会での
議論の経過がしっかり伝わ
るよう編集に力を注いでき
ました。

今後も、議会だよりを通
して、工夫をしながら「伝
える」努力を重ねてまいり
ます。

【編集副委員長
齋藤千恵子】

○議会だより編集委員会○

- 委員長 小久保広信
- 副委員長 齋藤千恵子
- 委員 佐藤 弘司
- 高橋 英夫
- 関谷 幸子
- 井上由紀雄